

講義名	レクリエーションスポーツ演習B		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	水流 寛二		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 2時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	42078

主題と概要

効率重視のシステムティックな社会構造が人間疎外を生み出している指摘されてから久しい。今後、さらに進展するであろう情報化やグローバル化の流れの中で、人間性の回復に向けた取り組みとしてレクリエーション運動の見直しも問われている。

この授業ではさまざまな種類のコミュニケーション・ワークやニュー・スポーツを体験することにより、生活の利便性を追求するがゆえに、知らず知らずのうちに身体活動範囲が制限されている実状に気づき、自らの身体メカニズムの理解を通して、健康で文化的な生活の足がかりを確かなものにしていく。

到達目標

1. 対象者と気持ちを一つにする方法としてホスピタリティを身につける。
2. 対象者同士で助け合う良好な集団作りの方法としてアイスブレイキングを身につける。
3. 心の元気づくりの手段として行うレクリエーション活動を習得する。
4. 「健康」獲得の方法を体得できるようになる。
5. 歴史やルール、基礎技術等を理解し、生涯にわたるスポーツ実践の礎とすることができるようになる。

提出課題

- ・グループワークの振り返り（中間期）
- ・現代の社会背景におけるレクリエーションの必要性（期末期）

評価の基準

* 授業実施時間数の4回以上欠席したものは単位を認定しない。
 * 授業中の評価：出席状況・受講態度など・・・80%
 * 中間期の評価：レポート課題・・・10%
 * 期末期の評価：レポート課題・・・10%

履修にあたっての注意・助言他

- ・授業には、運動に適した服装およびシューズを着用すること。
- ・積極的に楽しみ、けじめある態度で授業に参加すること。
- ・天候によって授業計画の変更がある。
- ・授業計画は学習内容をより充実させるために、受講者の技術度、習得度に応じて変更することがある。
- ・この科目は、「レクリエーション・インストラクター」資格関連科目である。

教科書

・使用しない。

プリント資料及び参考文献

- ・ 藪田碩哉ほか、「レクリエーション支援の基礎」、(公財)日本レクリエーション協会
- ・ 清水良隆ほか、「ニュー・スポーツ百科」、大修館書店
- ・ 三浦一朗、「アイスブレイキングゲーム集」(公財)日本レクリエーション協会
- ・ 水流寛二、「遊びのタネ」、社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

授業計画

1. オリエンテーション, 信頼関係づくりの方法・ホスピタリティ
2. 信頼関係づくりの方法・ホスピタリティ
3. 良好な集団づくりの方法・アイスブレイキング
4. 良好な集団づくりの方法・アイスブレイキング
5. 良好な集団づくりの方法・アイスブレイキング
6. ハンターゲーム
7. 秋を探しに(自然観察)
8. チャレンジ・ザ・ゲーム
9. インディアカ
10. ティーボール
11. ティーボール
12. 創作ニュースポーツ
13. 創作ニュースポーツ
14. モデル・プログラムの習得
15. モデル・プログラムの習得

予習・復習

授業の内容について、書籍やインターネット等に基づいて、事前に予習ならびに終了後の復習を十分に行うこと。

備考